



報道機関各位

北九州市環境局環境国際戦略課
(アジア低炭素化センター)

フィリピンにおけるトップセールスについて

本市は、市内企業が持つ低炭素化技術を活かし、東南アジアをはじめとする海外での環境改善とビジネスの両立を推進しています。

フィリピンは重点地域のひとつであり、平成11年よりセブ市において環境分野における人材育成や専門家派遣を行うなど、長年にわたり都市間連携を構築してきました。近年では平成25年度から日本磁力選鉱(株)による電気電子機器廃棄物リサイクル事業の支援を行っています。

また、平成27年2月、独立行政法人国際協力機構(JICA)の民間技術普及促進事業に採択され、新日鉄住金エンジニアリング(株)とともにフィリピンで初となる廃棄物焼却発電施設の導入に向けて、ダバオ市において廃棄物処理状況や関係法制度等の調査を実施してきました。平成28年7月にはJICAの草の根技術協力事業(地域活性化特別枠)に採択され、ごみの分別指導や生ごみのコンポスト化などを通して、ダバオ市が自発的にごみの減量化ができるよう人材の育成を行うこととなりました。

さらに、今年度からエム・アイ・コンサルティング(株)が、マニラのパシッグ川流域水環境改善事業を始めています。

このように市内企業がフィリピンで積極的に事業を展開する中、このたび、北橋市長をはじめとして、官民一体となったトップセールスを実施し、市内企業の海外展開をより一層推進します。ダバオ市とは「戦略的環境パートナーシップ協定」を締結し、これをもとに、「廃棄物管理を核とした都市環境整備」等のテーマでモデル事業を実施し、フィリピンにおける都市間連携協力の手本となることを目指します。

本市としては、官民連携によるインフラ・システムの海外展開をさらに後押しすることで、わが国の成長戦略を牽引するとともに、地域経済の活性化を図ってまいります。

記

■ 訪問日程

- 11/13 (日) 移動日(マニラへ)
- 11/14 (月) 政府機関(パシッグ川再生委員会)訪問等
- 11/15 (火) ダバオ市へ移動、ダバオ市長訪問・協定締結等
- 11/16 (水) セブ市へ移動、セブ市長訪問等
- 11/17 (木) 移動日(福岡へ)

■ 訪問者

北九州市長 北橋 健治、日本磁力選鉱(株)、新日鉄住金エンジニアリング(株)、エム・アイ・コンサルティング(株)

【お問い合わせ先】

北九州市環境局環境国際戦略課(アジア低炭素化センター) TEL 093-662-4020
(セブ市以外) 担当課長 本島 担当係長 高塚
(セブ市関係) 担当課長 園 担当係長 原田